

会 議 要 旨

会 議 名	令和４年度第２回 館山市地域公共交通会議
開 催 日	令和５年３月１０日（金）午後２時４５分～午後３時５５分
開 催 場 所	南総文化ホール 大会議室
出 席 者	[委 員]合計３０名（欠席 ６名） 別紙一覧表のとおり [館山市]合計４名（総合政策部長・企画課長・公共交通係長・係員）
公開・非公開の別	公 開
傍 聴 人 数	１名（定員１０名）
議 事	<p>【議 事】</p> <p>（１）令和４年度 館山市地域公共交通網形成計画の事業評価について（協議事項）</p> <p>（２）令和５年度以降の市街地循環バス運行計画について（協議事項）</p> <p>（３）令和４年度第３回 南房総・館山地域公共交通活性化協議会の議事概要について（報告事項）</p> <p>（４）高速バス車両ラッピング事業について（報告事項）</p> <p>【その他】</p> <p>・事務局、出席委員からの情報提供等</p>
会 議 内 容	<p>開会</p> <p>市長あいさつ</p> <p>議事</p> <p>（１）令和４年度 館山市地域公共交通網形成計画の事業評価について（協議事項）</p> <p>・事務局から配布した「資料 1-1～1-3」を用い、計画に定めた目標値の達成状況や各事業の取組状況等について、主に以下の内容等を説明し審議を行い、説明した評価結果を国へ報告することについて承認された。</p> <p>交通事業者や地域の皆様の協力をいただきながら事業を推進している。</p> <p>事務局としては、計画の進捗は概ね順調に進んでいると捉えている。</p> <p>目標値のうち、路線バスの利用者数については、ほぼ横ばいとなっており、R3から R4 の２市の人口推移は全体で 1.5％程度の減、65 歳以上で 1％程度の減となっていることから、利用者減に歯止めがかかったといえる。</p> <p>【質疑・意見等】</p> <p>（鈴木ひとみ委員）</p> <p>・移動困難者の把握について、人数やどの地域に移動困難な方が多い等の情報は市でもざっくりとつかんでいると思うが、移動困難の程度やどのような性別、年代の方がいるのかなど、実態をつかんでいくことが今後の課題になるのではないかと考える。詳細の把握によってラストワンマイルの支援等、実際の施策につながっていくと思うがどうか。</p>

(事務局)

- ・ご指摘のとおり、「この地域はバスが通っていない、通っていても、バス停や駅から遠い集落が多く、移動手段に困っている方が多い」等の情報を、地区ごとにある程度は把握していると認識しているが、その中の、Aさん、Bさん、Cさんがどうかところまではしっかりした把握ができていない。
- ・公共交通だけでなく、福祉の話も入ってくると思うので、今後も福祉部局と良く話をしながら実態の把握に努め、そこにどのようなサービスが必要か、移動販売が喜ばれている状況もあるので、公共交通という枠をはめず、検討していければと考えている。

(2) 令和5年度以降の市街地循環バス運行計画について(協議事項)

- ・事務局から配布した「資料2・資料2別紙」を用い、令和5年度以降の市街地循環バス運行計画について説明し、その内容について承認された。

【質疑・意見等】

(大橋委員)

- ・運行時間について記載がなかったが、バス停ごとの区間時分の見直しなどは考えているのか。現在運行していて、南総文化ホールからカインズまでの間で遅れがだいぶ出てしまうので、見直しを考えてもらえれば、利用者も時間の目途を付けて利用できると思う。現在の状況だと遅延により利用者にも迷惑がかかっているため、検討をお願いしたい。

(事務局)

- ・令和4年度の実証運行は1周45分で設定し運行しているが、御指摘の通り、文化ホール交差点やカインズ館山店の右折箇所で非常に待たされるというような話は当方でも聞いている。今度受託する事業者と一緒に、試走等の検証を十分に行い、余裕のあるダイヤ設定をしていきたいと考えている。

(鈴木ひとみ委員)

- ・資料に事業の収支率に関する記載があり、コミュニティバスで収支率20%を達成すれば十分とあるが、循環バスもこの辺りを目標にするのか。

(事務局)

- ・20%はできれば達成したい目標と考えているが、資料にも記載した通り、現状では5%のあたりを行ったり来たりしているのが現状なので、更なる努力が必要と考えている。学識経験者の方からも、「20%行けば御の字」という話をいただいているので、今後20%を目指していきたいと考えている。

(3) 令和4年度第3回南房総館山市公共交通活性化協議会の議事概要について

- ・「資料3～資料3別紙5」を用い、事務局から令和4年度第3回南房総館山市地域公共交通活性化協議会の議事概要について報告した。

【質疑・意見等】

(鈴木正一委員)

- ・買い物シャトルサービスやチョイソコ南房総・館山の実証運行期間が1年延されると聞き、大変ありがたい。
- ・買い物シャトルサービスについては、定着率が低い。周知が行き届いていない

のか、乗りづらいのか、理由は分からないが、せっかく1年間延長するので、今一度、啓発運動等が必要ではないか。曜日設定が適切かどうか等についても検証しながら1年間運行してもらえたらありがたいと思う。

- ・周知や運行曜日、ルート等について何かいい案は持ち合わせているか。

(事務局)

- ・御指摘のとおり、4カ月の運行ではなかなか周知が難しい。市街地循環バスも3回目の実証運行でようやく定着してきた。富崎地区で地域の皆様により運行されている「富崎ぐるっとバス」においても、運行開始から1年近く経過してなお、知らなかったという人がいたと聞いている。周知はどうしても時間がかかる部分があるので、地道にやっていきたいと考えている。
- ・なお、買い物シャトルについては、運行する地区の町内会長さんにご協力いただき、3月20日に配布する予定の館山市広報に合わせ、改めてチラシの配布をお願いしているところ。
- ・そのほか、「病院に行きたい」というニーズが多くあるものの、現在の運行は買い物に特化しすぎてしまっており使いづらい人がいるのではないかという御意見が、1月下旬に開催した南房総・館山地域公共交通活性化協議会で寄せられた。買い物シャトルサービスでは、地域からの要望もあり、目的地に館山病院を入れているが、館山病院に行くのと帰りの移動手段がない。
- ・今後は、そのあたりも含め、工夫を重ねていきたいと考えている。予算の関係もあり全てのニーズを満たすことができず、ミニマムな運行規模となっているが、委員におかれても、住民の方からの御意見等があれば、遠慮なく事務局にお知らせいただければと思う。

(鈴木正一委員)

- ・回答いただき、感謝する。
- ・神余地区等では、運賃が高いという声も聞く。障害者手帳を持っている人や運転免許を返納された人も気軽に利用してほしいということを提案しており、割引制度が導入されるようだが、4月1日から実施するのか。

(事務局)

- ・運賃の割引については4月1日から適用させる。適用後、最初の運行は4月4日となる。

(鈴木ひとみ委員)

- ・買い物シャトルサービスについては、事務局説明のとおり、病院に行きたいという高齢者の声は大きい。
- ・しかしながら、皆さん通院先が異なっており、かつ、診察時間もまちまちなので、そこをこのような運行形態でカバーするのは難しいという気がする。
- ・また、運行開始当初、神戸地区のコースをタクシーで回ってきて、1台で乗り切らなかったという話を聞いたが、ひょっとしたらその後も定員オーバーが発生し乗れないかもと考え、利用を控えている方もいると考えられる。神戸は神余の方からくると一番最後になるので、前もって予約ができるような仕組みを作れば、チョイソコのようなシステムを入れられるかどうかは分からないが、安心して利用できるようになると思う。

(事務局)

- ・まず、通院についてだが、御指摘の通り、かかりつけの病院が人によって違うという状況であり、地域の基幹病院にだけ行けば十分というわけではないと認識しているが、要望は数多くいただくので何とかならないかと考えているところ。
- ・車両については、コロナ等の影響でハイエースの納車が遅れたため、セダン型車両2台体制等で運行せざるを得ず、皆様にご迷惑をかけてしまったが、開始して2～3週間で車両が納車され、かつ、先ほどの説明のとおり、その後の利用状況は低迷しているため、乗り切れないという事態は今のところ発生していない。
- ・なお、予約制のチョイソコと予約が不要な買い物シャトルでやり方を分けているのは、どちらがより適しているのを見たいという理由。南房総市や合同協議会の場で協議した結果、平群線エリアは予約制、豊房線エリアは曜日とルートを決めた定期運行を行うことになった。定期運行にも分かりやすいといったメリットはあるが、往路は利用者がゼロでも全ての箇所を回る必要があるため、ロスが非常に大きい状況が続いている。
- ・状況を注視し、場合によっては豊房線エリアの実証運行についてもチョイソコのシステムにしたかどうか等の検討を始めてみたいと考えている。

(4) 高速バス車両ラッピング事業について(報告事項)

- ・「資料4」を用い、高速バス車両ラッピング事業について説明した。

【質疑・意見等】

- ・特になし。

その他

- ・南房総市で取り組まれている『市営バス路線富浦線の館山市内商業施設乗入』について事務局から説明。

【質疑・意見等】

- ・特になし。

交通事業者や委員からの意見や情報提供

委員から以下のとおり情報提供があった。

○簾谷 JR 館山駅長

- ・JRでは、3月18日(土曜日)にダイヤ改正を行う。館山エリアにおいては、朝、日中、夜とも大幅な変更はないが、深夜時間帯、千倉行きの最終電車の館山駅発車時刻が50分繰り上がる。現状23時43分を22時53分に変更させていただく。
- ・その他、学生をはじめ多くの皆様にご利用いただいている朝の時間帯や帰宅の時間帯については特段変更しない。
- ・続いて、館山駅のみどりの窓口だが、もうご存じの方も多いと思うが、営業終了となる。3月22日が最後の営業日となる。23日からは、「話せる券売機」という新しい機械を導入する。機械に置き換わるが、発券、払い戻し、定期券の販売等に関し、お客様にご不便ご負担のないように努めていく。

- ・また、駅社員も（機械操作等の）案内に努めるので、よろしくお願いしたい。
- ・最後に、コロナ関係について、来週の３月１３日以降、電車の中で「マスクを着用してください」という放送案内は行わず、着用はお客様の任意とさせていただく。
- ・なお、大声で話をしたり、飲酒して大声で会話しているお客様がいれば、なるべくマスクをつけたり、声を小さくしてくださいといったご案内をさせていただく。

○竜崎ジェイアールバス関東館山支店長

- ・JRバス関東では、コロナ禍の間、バス車内での飲酒禁止やマスク着用をお願いしてきた。
- ・１３日からはJR東日本と同様、マスクの着用はお客様ご自身で判断していただくことになり、当社からお客様にマスクの着用をお願いするということとはなくなる。このことは日本バス協会のガイドライン変更にあわせて進めていく形になる。
- ・また、簾谷委員から鉄道のダイヤ改正について情報提供があったが、JRバス関東の一般路線、高速路線については、このタイミングでのダイヤ改正は行わない。

【事務局から】

- ・会議要旨についてはまとめ次第送付するので、内容確認をお願いしたい。
- ・次回会議の日時は未定。決まり次第ご連絡させていただく。

閉会